

地方版総合戦略先行型効果検証について

1 効果検証について	2 先行型事業の取組状況
重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）に基づき、施策の効果を検証する。 ※KPI：目標の達成に向けた具体的な施策が予定どおり成果をあげているか（進捗）を計測する指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全7事業（基礎交付事業6 上乗せ交付事業1） ・概ね当初予定どおりに事業進捗した。 ・全13指標中、10指標で基準値を上回った。
3 KPIを踏まえた検証	4 今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね基準値を越え、総合戦略で掲げる基本目標につながる成果をあげている。 ・「賑わい・ビジネス機会創出事業」のKPIが基準値を下回った理由として、情報発信力の弱さがあげられる。また、「房総横断鉄道活性化連携事業」では、トロッコ列車の運休や、ハイシーズンが3月末であることなどにより、基準値を下回ったと考えられる。 	今年度策定している総合戦略において、引き続き、事業進捗を図るとともに、効果検証を踏まえ、次期総合計画策定と合わせて、必要に応じて、総合戦略を改訂することで改善につなげていく。

5 KPI（重要業績評価指標）の状況

	事業名	事業概要	KPI（重要業績評価指標）	基準値	実績値
1	中小企業支援事業	本市を支える中小企業の持続的な発展を図るため、ニーズを踏まえた経営基盤強化や人材育成に資する取り組みに対し、必要な支援を行った。 (関連事業：中小企業連携促進事業、中小企業人材育成支援事業)	設備投資支援件数	3件	5件
			出前講座利用企業者数	10社	11社
2	次世代農業導入支援事業	本市農業における諸課題（担い手不足、耕作放棄地増加等）の解決に向け、地域資源を活用しながら、農林産物の先進的な生産・加工・販売を目指す意欲的な取り組みに対し、必要な支援を行った。 (関連事業：次世代農業導入支援事業)	次世代農業の導入を検討する者	1名	1名
3	地域資源を活かした観光振興事業	人口減少・少子高齢化が進む地域において、交流人口の拡大による地域活性化を図るため、本市を縦断する小湊鐵道と連携しながら、沿線の地域資源の磨き上げや、地域住民と一体となったおもてなしの向上を図り、相乗効果による観光地としての一体的な魅力アップに取り組んだ。 (関連事業：観光地魅力アップ事業、ジビエ料理開発事業、農家レストラン支援事業、中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス事業)	イベント来場者数	5,000人	11,732人
			小湊鐵道利用客数（1日フリー乗車券、房総横断記念乗車券、トロッコ列車乗車券の合計販売数）	27,500人	31,000人
			地元食材を使用した新たなメニュー開発件数	3件	料理メニュー26件 加工品2件
4	賑わい・ビジネス機会創出事業	賑わいづくりを通じたビジネス機会の創出を図るため、農業・商業・工業・観光の連携や、名産品の掘り起こしを促すとともに、情報発信力を高め、本市の魅力向上やブランド化に資する取り組みを行った。 (関連事業：いちはらの魅力発信事業、都市交流拠点賑わい創出事業)	賑わい（市）来場者数	3千人/回	8,750/回
			販売促進等に取り組む事業者数	30事業者	22事業者
5	若者の子育て支援事業	若者の結婚への希望を叶えるため、異性間コミュニケーション力の向上や、企業が行う従業員への婚活事業を支援した。 (関連事業：婚活セミナー事業、京葉臨海コンビナート婚活プロジェクト支援事業)	婚活セミナー参加者数（年間3回計）	200人	281人
			カップル成立組数	30組	29組
6	若者の子育て支援事業	子どもたちの健全な発育を促すとともに、若者が安心して子育てでき、豊かな社会生活を送ることができるよう、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない情報発信の強化を図るとともに、保育施設等における安全・安心な子育て環境の向上に取り組んだ。 (関連事業：子育て支援サイト運用事業、保育環境改善補助事業)	子育て支援サイトアクセス数	2,500	4,358
			保育施設等が安全・安心な保育活動に取り組んでいると思う保護者の割合	50%	87%
7	房総横断鉄道活性化連携事業（※上乗せ）	いすみ鐵道と小湊鐵道の両鐵道を一本の鐵道に見立てた「房総横断鐵道」として利用拡大を推進し、同鐵道のブランドイメージの向上を図りながら、交流人口の拡大、地域交通の維持、地域経済の活性化など、「しごと」と「ひと」の好循環づくりに取り組んだ。 (関連事業：房総横断鐵道活性化連携事業)	房総横断記念乗車券販売数	6,300人	5,181人